



Hamamatsu Museum of Musical Instruments

浜松市楽器博物館だより

No. 47

2007. 4. 1

平成19年



左より庄田理事長 福本さんご夫妻、北脇市長

入館者100万人達成!

平成7年4月に国内初の公立楽器博物館として誕生した浜松市楽器博物館は、1月20日(土)に入館者100万人を達成しました。

午後1時に100万人目となられたのは、愛知県尾張旭市から来られた福本暉司さんと直子さんご夫妻で、ともに来館は初めて。片道3時間という遠いところを来館してくださいました。暉司さんは、木の实を使ってミニチュアの楽器やオーケストラを作られているそうで、製作の参考になればと博物館に来られました。「めったにないことで本当にうれしい」「浜松といえばやっぱり楽器ですね」と、驚きと喜びの言葉を口にされていました。ご夫妻は記念のくす球割で祝福された後、北脇保之浜松市長から100万人目の認定証と記念品、庄田武浜松市文化振興財団理事長からCDや図録など博物館の記念品を受け取り、博物館をゆっくりと見学されました。

浜松市楽器博物館は開館11年目の一昨年春からリニューアルに着手、昨年3月に完成し、世界の楽器1200点を展示。ヨーロッパに偏らず、アジアやアフリカなど世界諸地域の楽器の迫力ある展示と、イヤホンガイドや映像モニタ、体験ルームなどが人気を博し、18年度は9万2000人も多くの入館者でにぎわいました。



見学者でにぎわうオセアニア・アフリカ展示室

特別レクチャーコンサート「ベートーヴェンのアンサンブル」

日時：平成19年1月13日(土)
13:15(プレトーク)、
14:00(開演)

会場：アクトシティ浜松音楽工房ホール
出演：小倉貴久子(ピアノ) 桐山建志(ヴァイオリン)
高木聡(ヴァイオリン) 藤村政芳(ヴィオラ)
長岡聡季(ヴィオラ) 花崎薫(チェロ)

入場者：203名

静岡文化芸術大学との共同で、特別レクチャーコンサートを開催しました。全3回のうち、第1回はショパンのアンサンブルを取り上げ、NHKのBSハイビジョンで全国放送されるなど、大きな話題を呼びました。第2回のテーマはベートーヴェン。19世紀におけるオーケストラ作品は、オリジナル譜以上に様々な編曲版の楽譜によって普及していたと言われていいます。コンサートでは実際、

室内楽版楽譜を用い、交響曲第2番やピアノ協奏曲第4番などを演奏。ヴァルター製ピアノの艶やかな音色と、上質な弦楽器の音色によって、19世紀サロンの贅沢な空間を創り上げました。続く第3回は、シューマン夫妻のピアノを中心とするアンサンブルをお届けします。2008年2月開催予定。



使用楽器：
A. ヴァルター &
サン作
(ウィーン、
1808～10年頃)

レクチャーコンサート「ノルウェーのきらめき～ハルダンゲル・フィドル～」

日時：平成19年2月4日(日) 14:00
会場：アクトシティ浜松音楽工房ホール

出演：山瀬理桜(ハルダンゲル・フィドル&ヴァイオリン)、
中村真里(ピアノ)
大井素美、山瀬クリスティーナ静佳、
渡辺朋子(ハルダンゲル・フィドル)

入場者：131名



北欧ノルウェーの西部、美しいフィヨルドで知られるハルダンゲル地方に伝わる民俗ヴァイオリン"ハルダンゲル・フィドル"を紹介しました。弓で弾く4本の弦の下に共鳴弦が通り、独特な響きを持つこの楽器は、大作曲家グリーグにも大きな影響を与えました。コンサートでは、グリーグ作曲「ペールギュント」よりいくつかの楽曲や、北欧に伝わる民謡やダンス音楽が演奏されました。オーロラのような、澄んだきらめきに満ちた響きに会場が満たされました。

ミュージアムコンサート「ラウネッダスの祭り～イタリア・サルデーニャ島の歌と楽器～」

日時：平成19年3月19日(月) 18:30
会場：アクトシティ浜松音楽工房ホール

出演：サルデーニャ民俗音楽団"アトビオス"
入場者：134名



このコンサートでは、神秘の島といわれる、イタリア・サルデーニャ島に伝承する音楽を紹介しました。世界にもこの国にしかない葦製の3管クラリネット"ラウネッダス"の演奏など、聴きなれない音色に耳を傾けました。今回お招きした"アトビオス"は10人編成で、魅力的な歌・器楽・踊りをそれぞれ披露しステージを盛り上げました。会場は、サルデーニャの香りに包まれたひとときでした。

楽器博物館友の会「第5回学芸員との夕べ」

日時：平成19年2月24日(土)
演奏会 17:30～、交流会 18:45～
会場：演奏会(展示室)、交流会(LOLO 3RD MUSEUM)
参加者：演奏会 55名、交流会 51名
演奏：小倉貴久子(フォルテピアノ)

楽器博物館友の会会員の皆様に向けて「第5回学芸員との夕べ」を開催しました。この催し物は、「演奏会」と「交流会」の二部構成になっており、演奏会では、小倉貴久子さんが、当館所蔵のグラーフ製作のフォルテピアノを使い、シューマンの『謝肉祭』などを演奏いたしました。小倉さんの楽しく分かり易い解説とすばらしい演奏で、展示室に盛んな拍手が沸きあがりました。また、交流会では、アットホームな雰囲気の中、会員の皆様と当館職員の交流をより一層深めることが出来ました。



講座「楽器の中の聖と俗」

第38回 太鼓の中の聖と俗

日 時：平成19年1月20日(土) 14:00
会 場：アクトシティ浜松研修交流センター401会議室
講 師：西岡信雄(大阪音楽大学教授)
参加者：35名

楽器を通し各地の音楽文化を紹介する講座。第38回は、人々の暮らしと深く結びつきのある太鼓に焦点を充てました。娯楽、祭り、儀式、雨乞い、通信など、太鼓は様々な場面で登場します。講座では、沖縄県の民族芸能エイサーの太鼓、身分昇格儀式に使うヴァヌアツのスリット・ドラムなど世界各国の太鼓を取り上げ、その神秘性やパフォーマンスの様子を紹介しました。個々の太鼓が諸民俗にとっていかに大切な楽器であるかを、深く認識する講座となりました。



演奏体験ワークショップ

「チャンゴ」

日 時：(入門編) 平成19年1月21日(日)
Aコース 13:00 Bコース 15:00
(中級編) 平成19年1月28日(日)
13:00
会 場：アクトシティ浜松研修交流センター
31、37音楽セミナー室
講 師：イ・チャンソプ(サムルノリ演奏家)
参加者：計28名

チャンゴは朝鮮民族の伝統的な楽器で、韓国の人にとっても親しまれている楽器です。今回のワークショップでは「陰・陽」や「起・承・結・解」といった韓国の文化に根付いた考え方を軸に、「ドン」「クン」「タ」という3種類の叩き方、「チュンモリ」「フィモリ」などといったリズムなど、様々なチャンゴの奏法を学びました。先生の指導のもとにだんだん体がリズムに馴染んでいき、気持ちよくそろったチャンゴのリズムが会場に響きました。



「三味線」

日 時：平成19年2月25日(日)
Aコース 13:00 Bコース 15:00
会 場：アクトシティ浜松研修交流センター
36音楽セミナー室
講 師：松永鉄九郎
参加者：計23名

小中学生を対象に、三味線ワークショップを開催しました。日本の楽器とはいえ、触れるのは初めてという子どもたちも多く参加しました。楽器の構え方、バチの持ち方に始まり、挑戦した曲は「さくらさくら」。講師の姿を見よう見真似で音を探ります。始めは戸惑っていたものの、慣れてくると、子ども達は自ら進んで音を探り出しました。自分の身体ほどの大きな楽器を構えて頑張る子ども達。正座で足がしびれながらも、「三味線が好きになったよ、もっと弾きたいな」という頼もしい声が聞かれました。



「ガムラン」

日 時：平成19年2月10日(土)
Aコース 17:15、Bコース 19:30
会 場：楽器博物館展示室
講 師：中川真(大阪市立大学大学院教授)
参加者：計33人

インドネシア・ジャワ島のガムランワークショップを開催しました。講師の中川真先生は、東南アジアの民族音楽やサウンドスケープを研究される傍ら、主催するガムラングループで海外公演も成功されています。今回は、始めにガムランの叩き方やリズムになれるため簡単な曲

を練習し、続いて「Tirta Kencana(きらきら光る黄金の水)」など、やや難しい曲を演奏しました。参加者はガムラン独特の音階やリズム感と、皆で息を合わせて演奏することを学び、充実した体験になりました。



◆◆博物館日誌

- 1/13(土) 特別レクチャーコンサート「ベートーヴェンのアンサンブル」
14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏：小倉貴久子(フォルテピアノ)、桐山建志(ヴァイオリン)ほか 入場者203名
- 1/20(土) 入館者100万人達成記念式典
講座「楽器の中の聖と俗」第38回「太鼓の中の「聖」と「俗」」 14:00 アクトシティ浜松研修交流センター
講師：西岡信雄(大阪音楽大学教授) 入場者35名
- 1/21(日) 世界の楽器体験ワークショップ「チャンゴ入門編」
Aコース 13:00、Bコース 15:00
講師：イ・チャンソプ(サムルノリ演奏家)
参加者計17名
- 1/28(日) 世界の楽器体験ワークショップ「チャンゴ中級編」
13:00 講師：イ・チャンソプ(サムルノリ演奏家)
参加者計11名
- 2/4(日) レクチャーコンサート「ノルウェーのきらめき〜ハルダンゲル・フィドル〜」
14:00 アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏：山瀬理桜(ハルダンゲル・フィドル&ヴァイオリン)ほか 入場者131名
- 2/6(火) ~2/9(金)
移動楽器博物館(浜松市立大平台小学校)

- 2/10(土) 世界の楽器体験ワークショップ「ジャワ・ガムラン」
Aコース 17:15、Bコース 19:30
講師：中川真(大阪市立大学大学院教授)
参加者計33名
- 2/24(土) 楽器博物館友の会事業「第5回学芸員とのタベ」
演奏：小倉貴久子(フォルテピアノ) 参加55名
- 2/25(日) 世界の楽器体験ワークショップ「長唄三味線」
Aコース 13:00、Bコース 15:00
講師：松永鉄九郎
参加者計23名
- 3/19(月) ミュージアムコンサート「ラウネッタスの祭り〜イタリヤ・サルデーニャ島の歌と楽器〜」
18:30 アクトシティ浜松音楽工房ホール
演奏：サルデーニャ民俗音楽団「アトビオス」
入場者134名

◆ 1月~3月の観覧者数

	1月	2月	3月	3ヶ月の合計	開館からの累計
大人	3,499	4,317	5,821	13,637	765,437
中人	102	85	540	727	31,403
小人	692	544	1,740	2,976	173,064
幼児	228	247	315	790	46,342
計	4,521	5,193	8,416	18,130	1,016,246

2007年度イベント情報

企画展

知恵と工夫の万華鏡・素材で楽しむ楽器たち

8/1(水)~9/2(日)

リンパ、ヒョウタン、貝殻、竹、木の灰、石、皮、土、鉄、プラスチック...いろんな素材にいろんな特性。楽器に生かす知恵や工夫が大集合。



アフリカからの贈り物・親指ピアノ

11/3(土)~12/2(日)

リンパ、チリンバ、イリンバ、リケンベ、ムビラ、サンザ...ヨーロッパ人が親指ピアノとよぶ素敵な楽器。アフリカ各地に見られるこの素材な楽器の魅力を訪ねます。期間中ミニコンサートとワークショップも開催。

- ワークショップ 11/17(土) 13:00&15:00 研修交流センター(要申込)
- ミニコンサート 11/18(日) 14:00&15:30 展示室
講師：演奏：サカキマゴロ(アフリカ音楽研究者・リンパ奏者)

ゴールデンウィーク・ミニコンサート

5/3(木・祝) ケニアのハーブ「ニヤティイ」

演奏：向山恵理子

5/4(金・祝) 電子楽器「テルミン&マトリヨミン」

演奏：竹内正実&マーブル

5/5(土・祝) インドの弦楽器「サランギ」

演奏：小林祐介

いずれも14:00&15:30 展示室

サランギ

■催し物の日程や内容は予告なく変更されることがあります。事前にご確認ください。
■レクチャーコンサート、ワークショップなどは有料です。
■講座・ワークショップは申し込みが必要です。申し込み方法は、広報はままつ、ホームページ等でお知らせします。お問合せは【053-451-1128】へ。

レクチャーコンサート

チケット：大人1500円 学生800円
公演2ヶ月前より発売

第69回 4/15(日) 14:00 音楽工房ホール
ホリフォニーの輝き〜ウィオラ・ダ・ガンバ・コンサート〜
演奏：サ・ロイヤル・コンサート
(5名編成/ウィオラ・ダ・ガンバ)
お話し：堀沢真



第70回 6/9(土) 14:00 音楽工房ホール
フォルテピアノの父・クレメンティとその弟子たちの音楽
〜ブロードウッド・ピアノとともに〜
演奏：本多まき(フォルテピアノ)
お話し：藤江好子(桐原学園大学名誉教授)



第71回 9/2(日) 14:00 音楽工房ホール
「ナチナル」の作曲家、ウーベ・モーツァルトと親しいイギリスの音楽家フレデリックの功徳と作品を紹介。博物館所蔵1888年イギリスのアートワッド&サントフォルテピアノを使用。



第72回 10/7(日) 14:00 音楽工房ホール
アイリッシュ・アブタヌーン〜ホイッスルとダンスの至境〜
演奏：シヨーン・フイン(ホイッスル)
アン・カラナン(ダンス)キアラ・フイン(ダンス)
守安電子(ハーブ・コンサート・ピアノ・打楽器)
お話し：アール・守安



第73回 12/1(土) 14:00 アクトシティホール
浜松市指定都市移行記念
18世紀ヴェルサイユ・クラヴサン音楽の美の世界
〜博物館所蔵の名器「フランシェ」による〜
演奏：中野操一郎
(クラヴサン(チェンバロ))



政令指定都市移行記念の特別コンサートで、博物館所蔵の名器1765年V.C.F.フランシェ2世作のクラヴサン(チェンバロ)が今回限りで中ホールに登場。その貴重な響きをお楽しみください。

第74回 3/24(月) 18:30 音楽工房ホール
シルクロードの音世界〜トルコの民俗音楽と語り
演奏：トルコ民俗音楽団(12名編成)
文相の十字路〜トルコ民俗音楽家によるトルコ民俗音楽の精髄。



特別レクチャーコンサート

クララとローベルト・シューマン夫妻のアンサンブル

2/23(土)

14:00 音楽工房ホール 料金は未定
出演：小倉貴久子(フォルテピアノ)
桐山建志(ヴァイオリン) 石城真(チェロ)ほか
お話し：小倉貴久子(神戸文化芸術大学講師)
静岡文化芸術大学の室内楽共同企画第3弾最終回。ピアノ付室内楽のスタートを象徴する作曲家シューマンのピアノ。博物館所蔵1839年ウィーンのグラーフ製フォルテピアノを使用。



講座

楽器の中の聖と俗(全3回) 14:00 研修交流センター 要申込

講師：西岡信雄(大阪音楽大学教授・楽器博物館名誉館長)

6/16(土) 第39回 叩かない太鼓

太鼓は叩くものとは限らない。さてどう太鼓?

10/20(土) 第40回 楽器・武具・楽器

この3つの器の自在な転換の妙を学ぼう。

12/15(土) 第41回 「響する器」文化

何かを響かせるという本能的な発達の文化とは?



ワークショップ

世界の楽器の演奏を体験する入門講座

ジャワ・ガムラン 講師：中川真(大阪市立大学教員)

初心者コース 7/7(土) 17:15&19:30

中級コース 10/12(金)・13(土) 18:00~21:00

※12/13日以内

ジェンバ 講師：寺嶋幸也(アフリカ音楽研究者)

7/8(日) 13:00&15:00

バンジョー 講師：藤さとし(バンジョー奏者)

8/10(日) 10:00&13:00

リンパ(親指ピアノ) 講師：サカキマゴロ(リンパ奏者)

11/17(土) 13:00&15:00

チェンゴ 講師：イ・チャンソプ(サムルノリ演奏家)

初級 12/2(日) 13:00&15:00

中級 12/9(日) 13:00~16:00

バリ・ガムラン 講師：菅川厚一(神田外国語大学講師・ガムラン演奏家)

初級 1/12(日) 17:15&19:30

長唄三味線 講師：村野寿(長唄三味線演奏家)

2/3(日) 13:00&15:00

展示室ガイドツアー

毎日曜日 30分間程度の展示説明を1日2回実施。

ミュージアムサロン

毎月2回日曜日 職員やゲストによる展示室でのミニコンサート

展示鍵盤楽器のデモンストレーション演奏

毎日10:00~16:00 1時間毎

18~19世紀のチェンバロやピアノのデモ演奏(各回10分)

利 用 案 内

開館時間：午前9:30~午後5:00

休館日：毎月第2水曜日(祝日の時は翌日)、年末年始、その他施設点検等のための臨時休館日

常設展観覧料：個人 団体(20人以上) 団体(80人以上)

大人(大学生以上) 400円 320円 240円

中人(高校生) 200円 160円 120円

※中学生以下、高齢者(70歳以上)、障害者の常設展入館料は無料です。

浜松市楽器博物館だより

平成19年4月1日発行 No.47

編集 浜松市楽器博物館

〒430-7790 静岡県浜松市中区中央3-9-1

TEL. 053-451-1128

FAX. 053-451-1129

URL: http://www.gakkihaku.jp

MAIL: wakuwaku@gakkihaku.jp

印刷 株式会社シバプリント